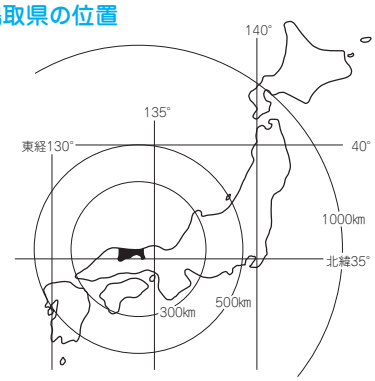
沿革・位置

鳥取県の位置



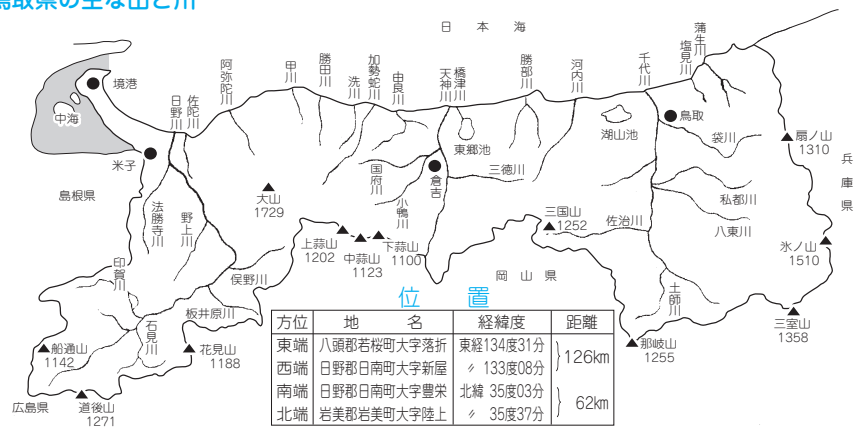
古代、鳥取平野には湖や沼が多く、水鳥などがたくさんいて、この鳥を取ることを仕事にしていた鳥取部（ととりべ：部は職業集団の名称）が住んでいたことから、この辺りを鳥取と呼ぶようになったということです。

江戸時代には、因幡、伯耆の二国を合わせた鳥取藩を池田氏が治め、鳥取城を居城としていました。

明治になり、廃藩置県（明治４年）で鳥取藩から鳥取県になりましたが、明治９年、島根県に合併されました。

しかし、明治14年、再び鳥取県が分立・再置され、今日に至っています。

鳥取県の主な山と川



位置

方位	地名	経緯度	距離
東端	八頭郡若桜町大字落折	東経134度31分	126km
西端	日野郡日南町大字新屋	〃 133度08分	
南端	日野郡日南町大字豊栄	北緯 35度03分	62km
北端	岩美郡岩美町大字陸上	〃 35度37分	

鳥取県の変遷

年月日	因幡国	伯耆国	隠岐国
明治元年（14郡）	鳥取藩 邑美郡　岩井郡　八東郡　高草郡 法美郡　八上郡　智頭郡　気多郡	河村郡　八橋郡　会見郡 久米郡　汗入郡　日野郡	松江藩管理
明治４年７月14日（廃藩置県）	鳥取県		浜田県管理
明治４年12月17日	鳥取県		
明治９年８月21日	合併により島根県		
明治14年９月12日	鳥取県（再置）		島根県
明治22年10月１日	鳥取市設置		
明治29年４月１日（１市６郡）	鳥取市 岩美郡　八頭郡　気高郡　東伯郡　西伯郡　日野郡		
昭和２年４月１日	米子市設置		
昭和28年10月１日	倉吉市設置		
昭和31年４月１日	境港市設置		
平成16年11月１日（４市５郡） 〜 現在	鳥取市　米子市　倉吉市　境港市 岩美郡　八頭郡　東伯郡　西伯郡　日野郡 ※気高郡消滅（鳥取市との合併により）		